



ラブちゃん日記

Vol.
28

もう1年の半分も終わり7月に入ってしまいました。この原稿を書いている6月14日は久しぶりの雨でこのまま梅雨に突入しそうな降りっぷりですが果たしてどうでしょうか。

5月30日(日)には卸団地の体育館でEDF恒例の「わんわん運動会」があり、34頭のワンと50名を超える飼い主さんの参加がありました。「だるまさんが転んだ」や「椅子取りゲーム」のような個犬競技と「お玉リレー」や「お着換えリレー」などの団体競技に飼い主さんとワンが力を合わせて取り組みました。さらに今回から「一ワン一芸」の披露タイムを延長し、多くのワンが日頃磨いた一発芸を披露してくれました。大変高度な技も披露されましたがより笑いを取れる「瞬間芸」に会場が盛り上がりおりました。今回の運動会はファミリーでの参加者が多く、特に10代の子供さんたちの大活躍が目立った大会になりました。高齢な私は心臓麻痺などを起こすと困るので運動会には参加できませんでしたが、6月3日福島市の「春日デイサービスセンター」で行われた「ふれあい

活動」には11頭のワンと13名の飼い主さんとで参加して来ました。

福島市で「ふれあい活動」が行われるのは初めてでしたが、受け入れ施設側さんの対応も素晴らしく、大変楽しく活動することができました。

初めてといえば今回から福島市在住の「ミック」君が活動に参加してくれて参加ワン一同大歓迎です。何故かと云うと今年になってから「訪問活動」の依頼件数が増えてきたので一頭でも多くのワン仲間が欲しかったからです。狭い空間に多くの人とワンが混在した状態になるので、人に撫でてもらうのが好きなだけでは務まらず、活動中は他のワンに対して吠えたり遊戯行動をとったりせずに人にだけ集中しなければならないので、適性があるワンはそう多くはないのが現状です。私はたとえば「ふれあい活動」に出かけるたびに多くの人に撫でてもらって生きるパワーをいただいて帰ってくるので、活動する度に元気になる気分です。



(M)